（一社）九州観光推進機構 活動レポート

－ 2016年7月号 －

６月のトピックス

○ ２０１６年度定時総会・第２回理事会 （6月1日:福岡市）

１５１名（委任状、議決権行使書も含む）の会員出席のもと、本年度の定時総会を開催しました。

会議では、２０１５年度収支決算（案）、役員（理事・監事）の選任を含む審議事項２件について、審議を行い原案どおり承認されました。

また、２０１５年度事業実施報告、２０１６年度事業計画、２０１６年度収支予算、会員の入会・退会の報告事項４件についても説明しました。

その後、定時総会を一時中断して第２回理事会を開催し、役員の選任を行い、次のとおり決定しました。

◎会　長＝石原　進（九州旅客鉄道株式会社 相談役）

副会長＝本　重人（鹿児島県商工労働水産部 観光交流局長）

副会長＝古田和吉（株式会社ＪＴＢ九州 代表取締役社長）

専務理事＝髙橋　誠（一般社団法人 九州観光推進機構 事業本部長）

○ 九州観光広報センター 開所式・記者会見 （6月1日:福岡市）

６月１日、九州観光推進機構内に九州観光広報センターを開設しました。当日は、開所式、開所に関する記者会見を開催しました。九州観光広報センターは、九州ブランドの確立や戦略立案、国内外への一元的な情報発信などの役割を担います。

当面は、熊本地震による風評被害払拭のための情報発信、及び７月１日から始まった九州への旅行に対する助成制度である「九州ふっこう割」のプロモーションを担当します。

今後も九州７県と連携し、九州の効果的な情報発信に努めてまいります。

○ 平成２８年度下期九州観光素材説明会・相談会 （6月1、13日:福岡市、松山市）

「みせましょう！九州はひとつ、九州の底力を」をスローガンに九州７県合同で「平成２８年度下期観光素材説明会・相談会」を開催し、熊本地震の風評被害を解消するべく説明を行いました。

福岡会場では、旅行会社２７社（１１８名）、メディア６社（１０名）、各県関係８３名、計２１１名の参加者で、活発に情報交換していただきました。

特に、大分県、熊本県・佐賀県・長崎県の相談会場には、多くの旅行会社・メディアの関係者が詰めかけ質問していました。

東九州自動車道開通に伴い、四国松山で初めて開催しました。当日は悪天候の為、開始に間に合わない県もありましたが、旅行会社２８社（５７

名)、メディア２社（２名)、各県関係者３８名、計９７名の参加者でした。熊本地震の風評被害払拭に対しては多くの参加者が理解を示されていました。

また、四国の方の九州へのニーズが分かり、お互いに誘客を図る理解が深まりました。

○ 台湾のテレビ局と連携した 20～30 代女性ＦＩＴ向け「旅館と列車の女子旅」情報発信　（6月1～9日:福岡、大分、宮崎、鹿児島）

台湾の人気旅番組「愛玩客」１２名（タレントを含む）を招請し、女子旅をテーマに、ＦＩＴ目線で九州の観光地を取材しました。また、同名の旅雑誌でも九州特集を組み、相乗効果を狙いました。

今回の取材の様子は７月に２回にわたって放送される予定です。雑誌については、８月上旬に掲載される予定です。

○ ハナツアー旅行博覧会出展　（6月9日～12日:韓国･高揭）

韓国の大手旅行社ハナツアーが全国の代理店及び一般来場者向けに開催した国際旅行博において、熊本地震による風評被害の払拭と九州観光の復興に向け、九州ブースを出展し、九州全体の観光及び九州オルレのＰＲを行いました。

九州の観光情報を掲載した韓国語版の九州地図は様々な方の興味を引き、また九州オルレのガイドブックも好評でした。

お客様からは、地震を心配する声もありましたが、九州の温泉やアクセスに対する質問が多くあり、盛況なプロモーションとなりました。

○ 香港国際旅遊展（ITE）出展事業(6月16日～19日:香港)

熊本地震による風評被害の払拭と九州観光の復興に向け、香港コンベンション＆エキシビションセンターで開催された国際旅行博（ITE2016）において九州ブースを出展し、観光ＰＲを行いました。

来場者からは旅行行程やＪＲレイルパスに関する質問が多く、傾向としてＦＩＴ（個人旅行者）による旅行が増加していると感じました。

また、熊本県がくまモンを連れてきており、九州ブースへの集客に効果がありました。一般来場者向けに開催したセミナーもほぼ満席であり、効果的な情報発信ができました。

○ 「九州ふっこう割」記者会見開催(6月23日:福岡市)

６月２３日、九州観光広報センターでは「九州観光支援のための割引付旅行プラン助成制度」の事業運用に関する記者会見を開催しました。

当日は、１９社２３名のメディアが取材され、通信社からの配信もあり、翌日２４日までに３６のメ

ディアで記事、ニュースとして取り上げられ、関心の高さを感じさせました。

本助成事業に関し、九州観光推進機構並びに九州７県では、「九州観光復興キャンペーン」と銘打ち、割引付き旅行プランの名称を「九州ふっこう割」といたしました。

今後も九州観光広報センターでは、記者会見の開催等、九州の情報を多くのメディアに取り上げてもらえるよう努めてまいります。

図１ 九州観光復興キャンペーンロゴ

図２ 九州ふっこう割ロゴ

○ 日本の観光・物産博２０１６ （6月24日～26日：台北）

熊本地震による風評被害の払拭と九州観光の復興に向け、台北駅コンコースで開催された日本の観光・物産展にブース出展するとともに、同時開催された日本の観光・物産商談会にも参加し、九州の観光 PR を行いました。

熊本地震に加え、大雨の影響を心配する声もありましたが、佐賀県や西鉄のブースと連携しながら、九州の元気な姿、正確な情報を発信しました。

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載（7/15）

「九州の外国人入国者数の推移について～平成２８年５月（速報値)、平成２８年４月(確定値)」を掲示しました。ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ＩＤとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ ７月以降の主な事業

・韓国ソウル・釜山における九州観光説明会・商談会（７月６日：ソウル、７月８日：釜山）
・在京ランド社を対象とした九州観光商談会開催（７月１１日：東京）
・タイにおける国際旅行博出展（ＴＩＴＦ＃１９）（７月１４日～１７日：タイ）
・九州ふっこう割プロモーション（７月１６日～１７日：名古屋駅／２３日～２４日：東京駅）
・台湾における九州観光説明会・商談会（８月２日：台北、８月３日：高雄）
・九州7県合同修学旅行説明会(8月4、5、18、19日:静岡、名古屋、東京、大阪)
・ＡＳＥＡＮ５カ国における九州観光説明会・商談会事業（８月９日：マニラ、１１日：バンコク）
・タイ市場における九州の魅力情報発信事業（８月から１１月：九州７県）
・ＡＳＥＡＮ旅行会社招請事業（８月から１１月：九州７県）
・欧州市場における「南日本ゴールデンルート」構築事業
（９月１３日～２０日：大阪、岡山、広島、福岡、大分、熊本、佐賀）
・ビジット･ジャパン・トラベル･マート２０１６出展（９月２１日～２３日：東京）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人　九州観光推進機構　企画部 柴田、弓削

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2947（海外誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2951（九州観光広報ｾﾝﾀｰ準備室ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

FAX:092-751-2944

E-mail：infokyushu@welcomekyushu.jp